

兵庫県宝塚市
横断歩道橋個別施設計画
(長寿命化修繕計画)
概 要



令和7年3月
宝塚市都市安全部道路管理課

1. 長寿命化修繕計画の背景

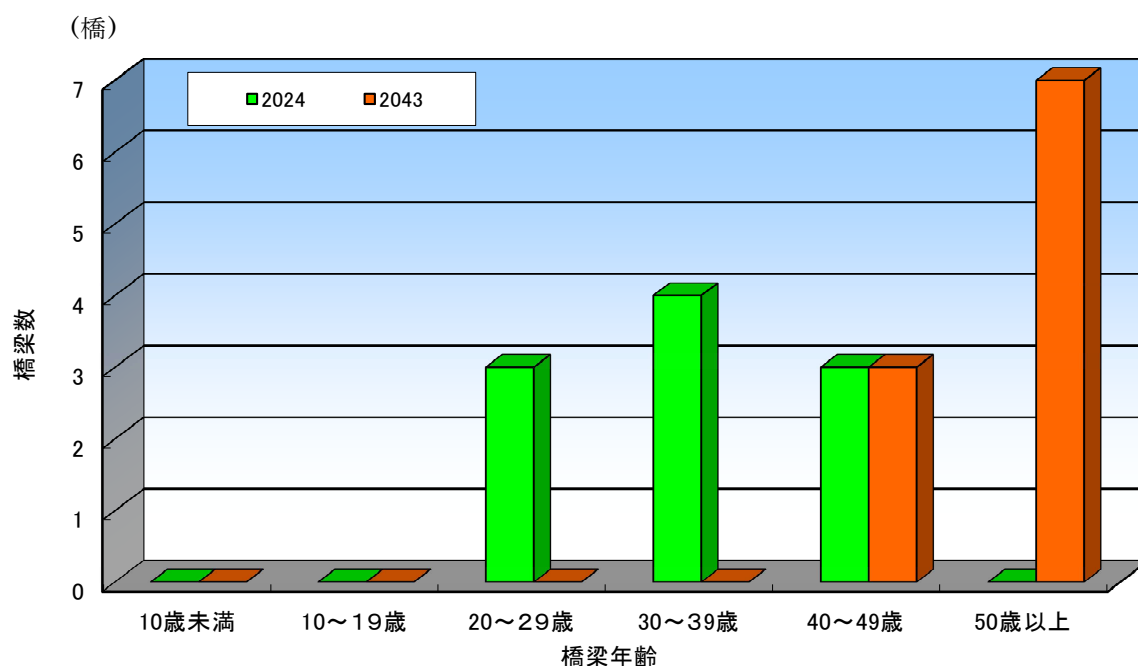
(1) 横断歩道橋の高齢化の状況

○宝塚市が管理する横断歩道橋は、現在10橋あります。

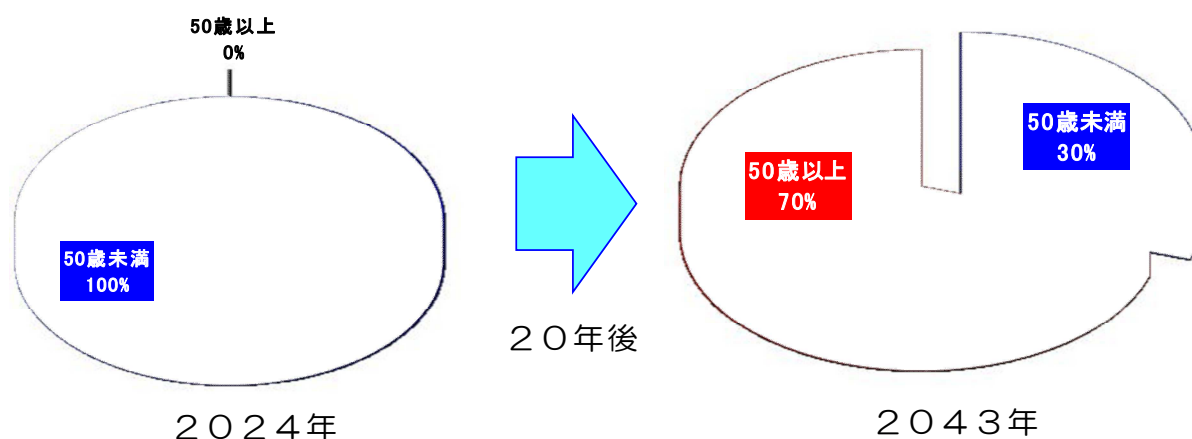
○このうち建設から50年を経過する高齢化橋梁は、2023年では0橋ですが、今後20年後には7橋（約70%）となり、急速に高齢化橋梁が増大します。

○このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに対応するため、計画的な補修が可能となるよう適切な予算計画を行い、安全性の確保とコスト縮減を図ることが必要です。

宝塚市が管理する橋梁の年齢の変化

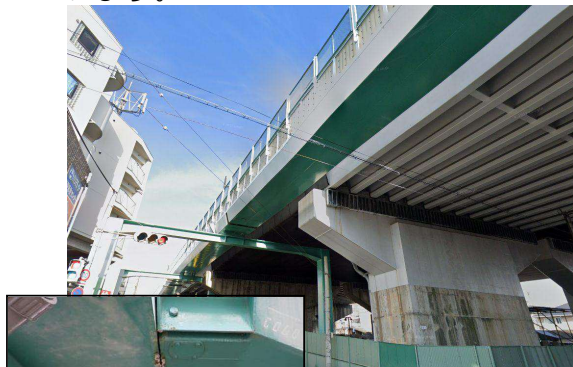


高齢化橋梁の分布の変化



2. 対象橋梁

○令和6年度の長寿命化修繕計画の対象横断歩道は、宝塚市が管理する10橋を対象としています。



米谷歩道橋(49歳)

健全性の判定区分Ⅱ



長尾小学校前歩道橋(38歳)

健全性の判定区分Ⅱ

	幹線1級	幹線2級	その他	合計
全管理橋梁数(令和6年度時点)	5	3	2	10
令和元年度計画策定の更新橋梁数	5	3	2	10
令和6年度計画策定の更新橋梁数	5	3	2	10
○長寿命化修繕計画の対象橋梁:宝塚市が管理する横断歩道橋				

※健全性の判定区分:橋の状態を四段階で表す値で、「健全:Ⅰ」、「予防保全段階:Ⅱ」、「早期措置段階:Ⅲ」、「緊急措置段階:Ⅳ」となります。

3. 宝塚市の管理理念

○宝塚市では、次の管理理念のもと「横断歩道橋の長寿命化修繕計画」の策定及び、管理を行います。

1. 基本理念(基本姿勢)

すべての市民が、安心を実感できる橋梁維持管理を目指して

～橋梁の適切な管理による長寿命化の確保～

2. 方針(進める際のルール)

- (1)点検や補修対策を適切に実施するとともに、状況に応じた速やかな緊急対策を行い、横断歩道橋の安全性を確保します。
- (2)長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図ることで、ライフサイクルコスト※1を抑制します。
- (3)PDCAサイクル※2により、常に見直しを行い個々の横断歩道橋の安全性を確保するとともに、より効率的な修繕計画の実現を図ります。

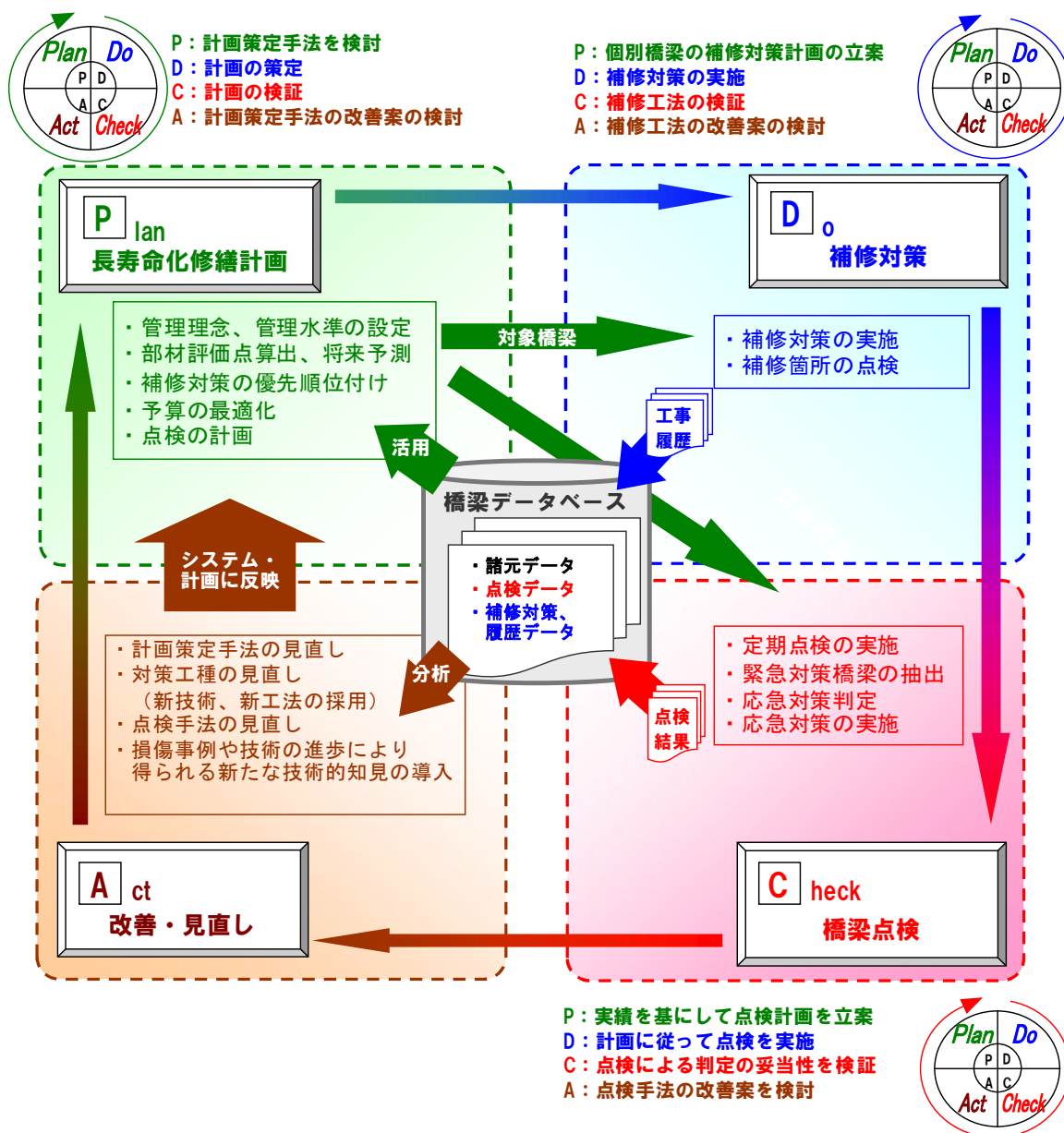
※1 ライフサイクルコスト:橋などの構造物を計画・設計・施工し、その構造物を維持管理して、最後に解体・処分するまでの構造物の全生涯に要する費用の総額のことをいいます。

※2 PDCAサイクル:Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を順に繰り返すことによって、業務を継続的に改善していくマネジメント(管理)手法の一つです。

3. 戦略（具体の進め方）

- (1) 全ての横断歩道橋に対して点検を着実に実施します。
- (2) 深刻な損傷が発見された場合には、通行規制等の応急処置を施すとともに、速やかに必要な緊急対策を実施します。
- (3) 計画的な補修対策を実施します。
- (4) データベース整備による施設管理データの有効活用を行います。
- (5) 適宜「長寿命化修繕計画」の見直しを行います。
- (6) 新たな知見を踏まえた継続的な改善を図ります。

PDCAサイクルのイメージ



4. 橋梁点検

○計画的な維持管理を行っていくためには、横断歩道橋の健全状況を把握することが重要となります。そのために、通常点検と定期点検により横断歩道橋の健全状態を把握していきます。また、地震や台風などの自然災害時には、異常時点検を行います。

通常点検

道路パトロールの際に、目視によって実施します。

定期点検

定期点検については、基本的に5年に1回、「兵庫県道路橋定期点検要領（宝塚市版）」による定期点検を実施します。

（「橋梁定期点検結果の概要」は別途公開しています。そちらを参照してください。）

異常時点検

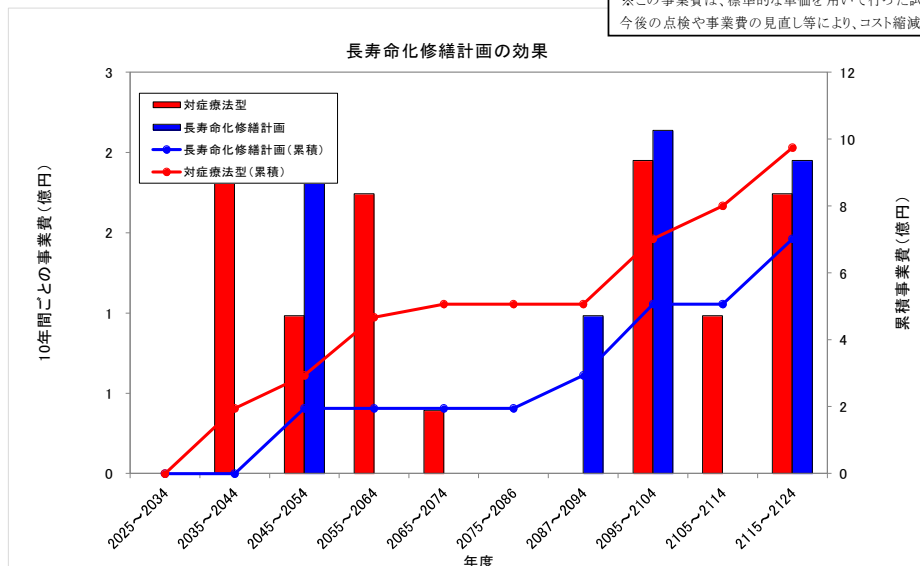
地震、台風、豪雨等により災害が発生した場合もしくは、その恐れがある場合と異常が発見されたとき、主に橋梁の安全性を確認するため点検を実施します。

5. 計画策定による効果

○これまで損傷が大きくなってから補修や架替えを行っていましたが、今後は長寿命化修繕計画に基づき、各橋梁の重要性や損傷状況に応じた計画的な補修や架替えを実施することで、今後100年間で約30%のコスト縮減が見込まれます。

○また、これまでの補修や架替えを続けると、莫大な費用が集中して必要となり、補修や架替えが困難になることが予想されます。しかし、長寿命化修繕計画により、予算が平準化され計画的な補修・架替えが可能となります。

※この事業費は、標準的な単価を用いて行った試算結果です。
今後の点検や事業費の見直し等により、コスト縮減額は変動します。



6. ご指導・ご助言を頂いた学識経験者

- (1) 迂回路が存在し社会情勢などを考慮した結果、集約が可能な橋梁等について、集約化・撤去・機能縮小などを検討し、維持管理費の削減に努めます。
- (2) 定期点検の効率化や補修対策の比較検討において、従来工法のみでなく新技術など（新工法、新材料など）を積極的に活用し、維持管理費の削減に努めます。

7. ご指導・ご助言を頂いた学識経験者

○この計画を策定するにあたり、神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻森川英典教授にご指導・ご助言を頂きました。

8. 担当部署

○兵庫県 宝塚市 都市安全部 道路管理課
TEL：0797-77-2094

(3) 個別の構造物ごとの事項一覧

番号	橋梁 番号	橋梁名	①構造物の諸元				②直近点検結果及び 次回点検年度			③対策内容	④対策の着手・完了予定年度 対策の凡例[◆:設計、○:修繕、◎:更新、×:撤去] 点検の凡例[●:一般、▲:跨線部・高速道路上等]																	
			架設 年度	橋長	幅員	橋梁 形式	点検結果		次回 点検 年度		R7			R8			R9			R10			R11			R12		
							年度	判定 区分			設計	対策	点検	設計	対策	点検	設計	対策	点検	設計	対策	点検	設計	対策	点検	設計	対策	点検
1	90011	高司歩道橋	1995	29.1	2.6	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
2	90021	サンビオラ歩道橋	1977	13.9	4.2	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
3	90031	花舞台歩道橋	2001	30.7	7.0	鋼	R4	Ⅲ a	R9	塗替え塗装工、断面修復工、ひび割れ補修工 他	○						●											
4	90041	御殿山歩道橋	1985	22.4	1.9	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
5	90051	米谷歩道橋	1975	88.0	1.9	鋼	R4	Ⅱ b	R9								▲											
6	90061	売布東の町歩道橋	1997	26.2	2.5	PC	R4	Ⅱ b	R9								●											
7	90071	中山五月台歩道橋	1978	29.3	3.4	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
8	90081	長尾小学校前歩道橋	1986	21.2	1.8	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
9	90091	山本駅南歩道橋	1992	24.0	2.0	鋼	R4	I	R9								●											
10	90101	川面歩道橋	1986	18.5	1.9	鋼	R4	Ⅱ b	R9								●											
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												
23																												
24																												
25																												
26																												
27																												
28																												
29																												
30																												
31																												
32																												
33																												
34																												